

アブストラクト

東日本大震災の影響による電力の供給力不足に対し、省エネ規制が総電力量からピーク電力の削減に見直された。(株)富士通研究所ではノートPCのバッテリーをオフィスの余剰電力として利用し、ピーク電力を削減する制御システムを開発した。本システムでは、オフィスの電力需要予測と充放電スケジューリングを行う。本講演ではこれらの手法と、シミュレーションおよび実証実験による評価結果について述べる。